

9月定例議会

行政報告

(1)

平成24年9月定例議会は、9月10日に開会、9月20日までの会期で開かれました。議会初日には、行政報告と上程された各議案の大綱質疑、また12日、13日には一般質問が行われました。この後、各常任委員会へ付託された議案を審議し、20日の最終日に採決が行われました。

9月定例議会の行政報告の概要をお知らせします。

総務部関係

■総務課

平成24年度職員採用試験は、8月1日から8月22日まで受験申込みを受付けし、大学卒一般行政39人、高校卒一般行政30人、高校卒消防吏員15人の応募がありました。第1次試験は9月16日ノースアジア大学で実施されます。

■総合政策課

県と市町村が協働で地域活性化に向けた事業に取り組む秋田県市町村未来づくり協働プログラムにおいて、本市の「森吉山大自然満喫プロジェクト」事業の推進を図るプロジェクトチームが、8月6日に設置されました。今後、県関係課や北秋田地域振興局と協働で、事業の具体化に向けた検討が行われます。

■内陸線再生支援室

秋田内陸線に関する地域懇談会を

7月3日から7月13日にかけて、北秋田市内4力所、仙北市内2力所で実施しました。会社側から内陸線の現状や今後の取り組み等に対する協力依頼、再生支援室からは今後の利用促進に関する企画等を説明し、増客への理解を深めました。

「第1回全国高校生地方鉄道交流会」が、秋田内陸線と沿線を会場に8月22日から2泊3日の日程で開催され、秋田北鷹高校生及び沿線住民との交流や活力ある地方鉄道の在り方などの意見交換を行い盛会裏に終了しました。

恒例となった沿線住民交流グラウンドゴルフ大会が8月31日行われました。沿線以外の大館市、大仙市の参加者を加え約160人が仙北市「松木内川河川公園」に集い、日頃の練習の成果を発揮して、好プレー、珍プレーが続出する楽しい交流会となりました。

財務部関係

■財政課

平成24年5月30日から8月20日までの工事等発注状況（500万円以上）は24件、契約額は2億8171万8千円です。

■税務課

平成24年7月1日現在の市県民税は、納税義務者数が1万5206人、課税額が16億1106万1千円です。国民健康保険税は6198世帯、課税額が6億2979万1千円です。

市民生活部関係

■生活課

7月5日、国道105号の阿仁比立内地区において、住民ボランティア、北秋田地域振興局、北秋田警察署、市役所、産業廃棄物協会等で構成された「美しいふるさと北秋田クリーンアップキャバラン隊」が不法投棄廃棄物を回収し、北秋田市内の環境美化に努めました。

東日本大震災に係る災害廃棄物の広域処理は、7月31日に岩手県野田村の破砕選別施設を視察し、可燃物受入れの可能性を検討してきましたが、8月7日の「新規調整は行わない」という環境省の発表を受け、秋田県も8月9日、県内の試験焼却を実施した3市2事務組合で対応する



▲8月21日に開催された北秋田市廃棄物減量等推進審議会

方針を示したことから、当市の受入れの検討は中止することにしました。

第1回北秋田市廃棄物減量等推進審議会を8月21日に開催し、北秋田市一般廃棄物処理基本計画書案の審議を行いました。市民からの意見も聞きながら、成案とする予定です。

防犯街灯設置補助金は、自治会等の維持管理費の軽減と環境への配慮から、LED化を促進するため、補助金要綱を見直しのうえ改正したので、今後、各自治会等へ啓発していきます。

消費生活相談業務は、4月から8月末までの相談件数は32件で、訪問販売・通信販売など無店舗による販売に関する相談が半数を占めています。継続している案件が3件あり、解決に向け引き続き積極的に支援に努めていきます。



▲7月19日に行われた、第62回社会を明るくする運動の街頭パレード

第62回社会を明るくする運動を、7月19日に開催しました。各関係機

健康福祉部関係

■福祉課

8月1日現在の国民健康保険前期高齢者受給者証の交付者数は2217人、後期高齢者医療の被保険者証の交付者数は7852人、福祉医療受給者証の交付者数は5739人です。

■市民課

7月9日から外国人住民に係る住民基本台帳制度がスタートしました。これにより、外国人住民も住民基本台帳制度の対象となり、市区町村において「住民票」が作成され、住民票の写しの交付による居住関係の公証や各種行政サービスの基礎として利用されます。



▲戦没者に哀悼の意を表するとともに平和への誓いを新たに市戦没者追悼式

関・団体から約320人が参加し、街頭パレードと市民集会を通して、家庭、職場、地域社会へ犯罪や非行の防止を訴えました。

平成24年度北秋田市戦没者追悼式を、8月31日文化会館で開催しました。関係者並びに遺族会員280人が出席し、北秋田市関係戦没者1700人の方々に対し、黙とうと献花を行いご冥福をお祈りしました。

市の指定管理施設である「フードセンターたかのす」と「もろびこども園」は、指定管理期間が平成25年3月までとなっているため、市広報・市ホームページを通して7月2日から募集を開始し、7月17日には募集に伴うそれぞれの施設の現場説明会を行っています。

■高齢福祉課

安心して暮らせる地域づくりを推

進するため、ひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯、障がいを含め健康に不安を抱える方に「救急医療情報キット」を7月2日から配布しています。「救急医療情報キット」は、救急および緊急時に迅速に支援が行えるよう、緊急連絡先やかかりつけ医などの情報を専用の容器に入れ、自宅の冷蔵庫に保管することで、万一の場合に備えることを目的としており、8月20日現在、市内527世帯に地域民生委員等のご協力をいただきながら配布しました。

市の指定管理施設である「軽費老人ホーム大野台エコーハイツ」、「合川高齢者生活支援施設」、「老人憩いの家ことぶき荘」は、指定管理期間が平成25年3月までとなっているため、市広報・市ホームページを通して7月2日から募集を開始し、7月17日には、募集に伴うそれぞれの施設の現場説明会を行っています。

高齢者福祉計画・第5期介護保険事業計画で、平成24年度に1事業所を整備予定としていた地域密着型認知症対応型共同生活介護事業所（認知症グループホーム）について、整備計画の公募をしたところ4法人から整備の申請がありました。市では高齢福祉・介護保険事業運営委員会からの審査選考の答申を受けて、社会福祉法人芳徳会を運営予定事業者

として選定しました。同法人では建設準備が整いしだい施設整備に着手する予定です。

■健康推進課

集団検診の受診状況は特定健康診査2018人、一般健康診査62人、後期高齢者健康診査1095人です。献血実施状況は、7月末現在で全血献血259人です。

■医療推進課

第1回目の北秋田市地域医療連携センター運営協議会を7月25日に開催し、本年度の事業計画の協議とサービス提供における困難事例の検証を行いました。

■診療所

4月から7月までの市立3診療所の外来患者数は、阿仁診療所は、内科3788人で前年同期比77人の増、外科4027人で前年同期比331人の増、歯科1259人で前年同期比178人の減。合川診療所では、4944人で前年同期比722人の減。米内沢診療所では、内科6241人で前年同期比2747人の減、小児科524人で前年同期比104人の減、整形外科1577人で前年同期比297人の減、脳血管外科371人で前年同期比207人の減、心臓血管外科90人で前年同期比9人減です。今後も安定した診療所運営に努めます。